

第74期報告書

2023年4月1日から2024年3月31日まで

株主の皆様へ

皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。
当社は、「人と環境に優しい住まい方の創造と提案により社会貢献」することを企業使命感として、経営基盤の強化と収益力の向上により、安定した配当の継続を基本に皆様のご期待にお応えしたいと考えております。当社第74期の決算が終了いたしましたのでご報告申し上げます。

当期のわが国経済は、アフターコロナへの転換に伴い経済活動の正常化が進み、雇用・所得環境の改善や日経平均株価の大幅な上昇が見られるなど、緩やかな回復基調となりました。しかしながら、世界的な金融引き締めや中国経済の先行き不安に伴う海外の景気下振れ、円安基調による資源・原材料価格高騰に伴う物価上昇、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化や中東情勢不安による地政学リスクの高まり等により、依然として先行き不透明な状況が続いています。卸売事業の営業基盤であります住宅業界におきましては、職人不足や建築資材価格の高騰に伴う住宅価格の上昇から、住宅取得マインドの低下が懸念され、新設住宅着工戸数は減少傾向が続く環境となりました。

このような環境において、卸売事業では、オリジナルブランドである「ARUMIK」、「Skog」のブランド認知度向上に取り組み、自然素材の輸入関連商品、ダクトレス全熱交換換気システム「Air save」などの換気関連商品の販売強化と既存取引先との関係強化に注力してまいりました。小売事業では、店舗改修による利便性の向上とテナント誘致による集客力の強化、各種サービスの拡充によるお客様満足度の向上に努めてまいりました。

これらの結果、第74期連結決算は、売上高339億93百万円（前連結会計年度比3.3%減）、営業利益18億14百万円（同17.3%減）、経常利益19億83百万円（同15.8%減）、親会社株主に帰属する当期純利益10億31百万円（同20.5%減）となりました。

次期につきましては、卸売事業では、オリジナル商品群の販売強化によりキムラブランドの確立を目指すとともに、ダクトレス全熱交換換気システム「Air save」などの換気に関連した商品の販売拡大とボリュームゾーンへの取引拡大に注力してまいります。小売事業では、お客様へ意味と価値あるサービスを提供し、リアル店舗の強みを活かして売場の進化を図ってまいります。さらに、全ての部門でお客様からの要望にお応えできる専門知識の提供に努めてまいります。

株主の皆様には、今後ともより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長

木村 勇介

■ 事業

■ 卸売事業

本社および 12 営業所（北海道内 4、本州 8）において、住宅用資材の卸売を行っております。オリジナル商品である換気関連商品の販売強化と既存取引先との関係強化に注力しましたが、持家着工戸数減少の影響もあり、売上高 100 億 69 百万円（前連結会計年度比 7.3%減）、営業利益 7 億 99 百万円（同 13.2%減）となりました。



■ 小売事業

子会社である株式会社ジョイフルエーカーにおいて、大型ホームセンター 4 店、ペット専門店 4 店、資材専門店 1 店を運営しております。家庭用からプロ向けの商品まで幅広く販売しております。各種サービスの拡充によるお客様満足度の向上と接客力の強化による他店との差別化に努めてまいりましたが、人件費、水道光熱費を始めとした経費増加もあり、売上高 216 億 7 百万円（前連結会計年度比 1.3%減）、営業利益 10 億 27 百万円（同 24.9%減）となりました。



■ 不動産事業

札幌およびその近郊で不動産の賃貸を行っております。賃貸資産の適切な管理と効率的な運用を心掛けておりますが、売上高 4 億 22 百万円（前連結会計年度比 9.2%減）、営業利益 2 億 74 百万円（同 2.4%減）となりました。

■ 足場レンタル事業

道央圏（札幌およびその周辺地域）、道北圏で増改築やリフォーム工事などで必要な足場を組立・解体の人材および工程込みでレンタルしております。業務の効率化による生産性の向上と経費節減に努めており、売上高 5 億 88 百万円（前連結会計年度比 23.6%減）、営業利益 31 百万円（同 10.2%増）となりました。

■ サッシ・ガラス施工事業

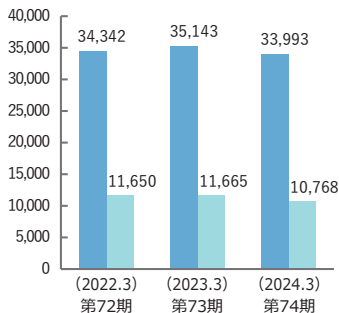
札幌およびその近郊でサッシ・ガラス等の加工、施工販売を行っております。工事現場での設計、監理、施工の基本を徹底することで業務の効率化に努め、商業施設の受注が好調だったこともあり、売上高 13 億 4 百万円（前連結会計年度比 13.8%増）、営業利益 95 百万円（同 683.1%増）となりました。

業績ハイライト

■ 連結 ■ 単体

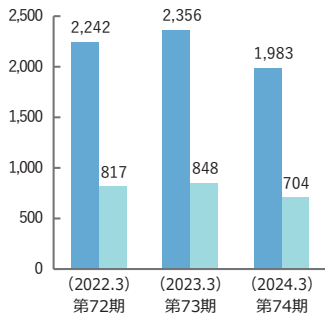
売上高

(百万円)



経常利益

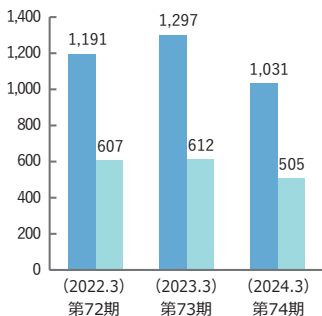
(百万円)



当期純利益

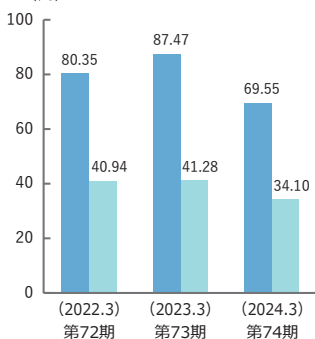
(連結：親会社株主に帰属する当期純利益)

(百万円)

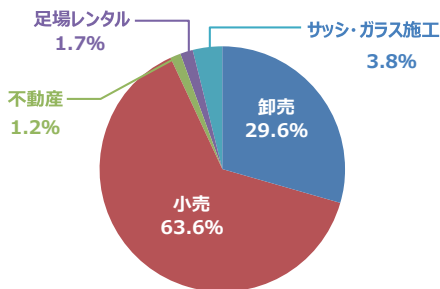


1株当たり当期純利益

(円)



売上高構成比



財務諸表等

貸借対照表の要旨（連結）

（単位：千円）

科目	【前会計年度】 2023年3月31日現在	【当会計年度】 2024年3月31日現在
資産の部		
流動資産	10,929,276	11,108,712
固定資産	15,235,381	15,800,991
有形固定資産	13,050,842	13,116,467
無形固定資産	180,350	434,865
投資その他の資産	2,004,187	2,249,657
資産合計	26,164,657	26,909,704
負債の部		
流動負債	5,974,477	6,130,983
固定負債	3,380,983	2,793,253
負債合計	9,355,460	8,924,236
純資産の部		
株主資本	13,959,607	14,783,612
資本金	793,350	793,350
資本剰余金	834,427	834,427
利益剰余金	12,464,859	13,288,878
自己株式	△ 133,029	△ 133,042
その他の包括利益累計額	383,533	544,547
非支配株主持分	2,466,055	2,657,306
純資産合計	16,809,196	17,985,467
負債・純資産合計	26,164,657	26,909,704

損益計算書の要旨（連結）

（単位：千円）

科目	【前会計年度】 2022年4月1日から 2023年3月31日まで	【当会計年度】 2023年4月1日から 2024年3月31日まで
売上高	35,143,560	33,993,703
売上原価	24,841,360	23,944,708
売上総利益	10,302,200	10,048,995
販売費及び一般管理費	8,107,741	8,234,777
営業利益	2,194,458	1,814,217
営業外収益	184,342	188,569
営業外費用	21,925	19,441
経常利益	2,356,876	1,983,345
特別利益	212,905	3,028
特別損失	65,183	280
税金等調整前当期純利益	2,504,598	1,986,093
法人税等	883,036	716,198
当期純利益	1,621,562	1,269,895
非支配株主に帰属する当期純利益	324,129	238,219
親会社株主に帰属する当期純利益	1,297,432	1,031,676

■ 貸借対照表の要旨（単体）

（単位：千円）

科 目	【前会計年度】 2023年3月31日現在	【当会計年度】 2024年3月31日現在
資産の部		
流動資産	5,664,761	5,276,568
固定資産	6,654,851	7,482,358
有形固定資産	3,430,968	3,590,387
無形固定資産	121,352	370,934
投資その他の資産	3,102,530	3,521,036
資産合計	12,319,613	12,758,926
負債の部		
流動負債	1,575,822	1,494,900
固定負債	760,434	821,719
負債合計	2,336,256	2,316,620
純資産の部		
株主資本	9,599,655	9,897,758
資本金	793,350	793,350
資本剰余金	834,500	834,500
利益剰余金	8,104,835	8,402,951
自己株式	△ 133,029	△ 133,042
評価・換算差額等合計	383,701	544,547
純資産合計	9,983,356	10,442,306
負債・純資産合計	12,319,613	12,758,926

■ 損益計算書の要旨（単体）

（単位：千円）

科 目	【前会計年度】 2022年4月1日から 2023年3月31日まで	【当会計年度】 2023年4月1日から 2024年3月31日まで
売上高	11,665,221	10,768,830
売上原価	9,373,663	8,554,585
売上総利益	2,291,557	2,214,245
販売費及び一般管理費	1,665,065	1,712,317
営業利益	626,491	501,927
営業外収益	224,053	204,108
営業外費用	2,009	1,908
経常利益	848,535	704,127
特別利益	9,088	—
特別損失	356	—
税引前当期純利益	857,267	704,127
法人税等	244,985	198,352
当期純利益	612,282	505,774

■ 会社概要 (2024年3月31日現在)

商号	株式会社キムラ
英文商号	KIMURA CO., LTD.
本社	札幌市東区北六条東四丁目1-7
設立	昭和26年1月
資本金	7億9,335万円
従業員数	151名

■ 株式の状況 (2024年3月31日現在)

発行可能株式総数	50,400千株
発行済株式の総数	15,180千株
株主数	1,357名

大株主 (上位8名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社カネキ	5,269	34.71
キムラ取引先持株会	1,435	9.46
株式会社北海道銀行	734	4.84
木村勇介	712	4.69
木村勇市	621	4.09
キムラ社員持株会	496	3.27
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	455	3.00
株式会社北洋銀行	386	2.54

■ 役員 (2024年6月27日現在)

代表取締役社長	木村 勇介	取締役	小林美穂子
常務取締役	木村勇太郎	常勤監査役	吉田 研一
取締役	野村 真也	監査役	斉藤 博之
取締役	小池 猛夫	監査役	本間 幹英
取締役	朝日田雄人		

■ 株主メモ

事業年度	4月1日から3月31日まで
定時株主総会	6月
剰余金の配当基準日	3月31日 (中間配当を行う場合は9月30日)

単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目3-3 みずほ信託銀行株式会社

お取扱窓口	お取引の証券会社 特別口座管理の場合は、 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html フリーダイヤル 0120-288-324
-------	---

公告方法	電子公告 https://www.kimuranet.jp ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。
------	---



オリジナルブランド



【エアセーブ】



【メダス】



【エアボレー】



【スマートeチェンジ2】

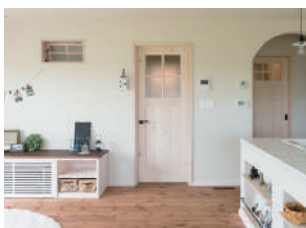


自然素材のプライベートブランド

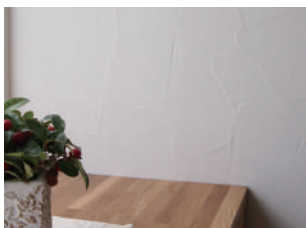
Skog
スコーク



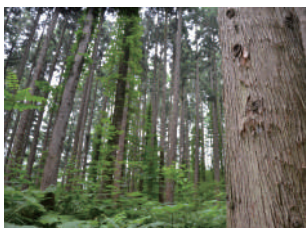
【カフェスタイルシリーズ】



【E-na ドア】



【エゼットウォール】



【北海道シダー】